

## 青年部だより

### “40周年事業”の 具体化へ検討開始

世界は“新型コロナ”に翻ろうされています。我が青年部も厳しい環境ではありますが、来年2月に予定している「40周年事業」の成功に向け、徐々に取り組みを開始しました。

去る7月31日には、担当者など12人が出席し「周年・ビジョン委員会」が会議を開催。会議では、未来を展望する中で、事業の充実と組織強化に向けた会員拡大など、“5年後のビジョン”を策定するための意見交換をはじめ、“コロナ禍”への対応などについても議論を深めました。今後、「次世代ネットワーク委員会」と「次世代フレンドシップ委員会」についても随時開催し、各事業の熟度を高めていく予定です。

ただ、新型コロナ感染予防対策として、しばらくは対面型の事業は困難であることから、事業の縮小や再



7月31日のYEGビジョン事業

検討などは避けられません。このため、今月中に臨時総会を開催し、予算も含めて下半期の対応を検討することとしています。

引き続き皆様のご理解とご協力をお願いします。

#### 会員募集中

現在青年部では会員を募集しています。詳しくは舞鶴YEG事務局（舞鶴商工会議所 Tel 62-4600）までお問い合わせください。

## 女性会だより

### ウィズコロナと 女性会の活動

会長 加茂前 都美子



「世界の感染者2,500万人突破」、「主要国経済1割縮小」、「日本のGDP年換算27.8%減」の新聞見出しに驚かされるとともに、不安の増す毎日です。JMU問題に加えた新型コロナ禍の中で、皆様には舞鶴経済の行方を模索される一方、自社営業の対処についても、日々懸命に取り組んでおられることと思います。心から敬意を表しますとともに、お見舞いを申し上げます。

女性会でも、4月からの新体制発足後の計画をすべて中止せざるを得ないのが実態でした。これからの事業についても、感染予防対策はもとより、様々な検討

を加えながらも、少しずつ取り組んでいきたいと考えております。

まずは、「会員の増強」です。メンバーの固定化は安定した運営が可能な一方で、次代の人材不足を招くとともに組織の弱体化につながります。最大の懸案対策として新規会員の入会に努めます。

次に、女性会が“組織の強み”を活かして取り組んでいる「社会福祉の増進」です。今年もチャリティー事業を是非とも開催し、その収益を舞鶴市へ寄付したいと考えています。

3点目が、コロナ禍で疲弊する「地元会員企業の応援」です。女性会として、飲食店など深刻な影響を受けているお店などを積極的に利用していくことで、少しでも応援が出来れば、と思っています。

当面の事業としては、10月に倉敷市で「全国大会」がオンラインで開催される予定です。皆さんとともに、初めての「オンライン総会」を体験します。

女性会の活動に対する格別のご理解とご協力をお願いし、現状のご報告と今後の活動予定をお知らせさせていただきます。